

令和6年10月30日
(2024年)

保護者のみなさま

吹田市立豊津第一小学校
校長 西岡 孝

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、8月末に個人ごとの結果をお返ししました。また今回実施した調査結果等は吹田市ホームページに公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果を、今後の参考にしていただきますようお願いいたします。

Ⅰ 教科に関する調査の分析

(1) 《概要》

国語 全国値を下回る結果が多くありました。

算数 平均正答率は全国値を上回り良好な結果でした。また、半数以上の設問で全国値を上回っていました。

(2) 《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

● 国語

知識及び技能

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・「話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができる」は、全国値をやや上回っている。
- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」は、一つは全国値を上回り、もう一つは全国値をやや下回っている。
- ・「文の中における主語と述語との関係を捉えることができる」は、全国値を上回っている。

情報の扱い方に関する事項

- ・「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる」は、全国値をやや下回っている。

我が国の言語文化に関する事項

- ・「日常的に読書を親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる」は、全国値をやや上回っている。

思考力,判断力,表現力等

話すこと・聞くこと

- ・「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる」は、全国値をやや下回っている。
- ・「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる」は、全国値とほぼ同じである。
- ・「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる」は、全国値を上回っている。

書くこと

- ・「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる」は、全国値とほぼ同じである。
- ・「目的や意図に応じて、事実と感想、意図とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」は、全国的に下回っている。

読むこと

- ・「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる」は、全国値をやや下回っている。
- ・「人物像を具体的に想像することができるか」は、全国値をやや下回っている。
- ・「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる」は、全国値を下回っている。

●国語科における成果と今後の改善点について

全国値に比べてやや下回る結果が多く見られました。

今回も全国学力・学習状況調査の問題形式は、選択式、短答式、記述式の3種類が出題されました。

特に、「言葉の特徴や使い方に関する事項」においては、全国値と比べて正答率が上回りました。漢字を正しく覚えていたり、文の中の主語と述語の関係を捉えたりすることができていました。

一方で、「書くこと」「読むこと」においては、全国値と比べて正答率が下回っているものが多い結果となりました。「書くこと」の“目的や意図に応じて、事実と感想、意図とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる”の問題においては、正答率が低く、前半の文章を参考に条件を満たしながら必要な情報を集めて、簡潔に文をまとめることに課題があると考えられました。また、「読むこと」においての問題は、全問下回っていたり、やや下回っていたりする結果になりました。

今回の結果から、「文を読んで自分の気持ちや考えを書く」という問題を苦手としているということがわかりました。まずは、目的に応じて文章中から必要な情報を見つけ、内容を的確に捉えて、同時に自分の考えを持ちながら読むことができるように、授業を進めていきます。そして、必要な情報を集め、得た情報を適切に関係づけて簡潔に書く指導も進めていきます。

●算数

知識及び技能

数と計算

- ・「問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと」は、**全国値を上回っていた**。
- ・「数量の関係を、□を用いた式に表すこと」は、**全国値を上回っていた**。
- ・「除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している」は、**全国値をやや下回っていた**。
- ・「除数が小数である場合の除法の計算をすること」は、**全国値をやや下回っていた**。

図形

- ・「直方体の見取り図について理解し、書くこと」は、**全国値とほぼ同じである**。
- ・「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること」は、**全国値を下回っていた**。

変化と関係

- ・「速さの意味について理解している」は、**全国値をやや上回っていた**。

データの活用

- ・「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること」は、**全国値をやや下回っていた**。
- ・「簡単な二次元の表を理解し、割合を読み取ること」は**全国値を上回っていた**。

思考力、判断力、表現等

数と計算

- ・「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」は、**全国値をやや上回っていた**。

図形

- ・「球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと」は、**全国値をやや上回っていた**。しかし、無回答率がやや高めとなっている。
- ・「角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述すること」は、**全国値をやや下回っていた**。

変化と関係

- ・「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること」は、**全国値を上回っていた**。
- ・「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」は、**全国値を上回っていた**。しかし、正答率は低い結果になっている。

データの活用

- ・「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること」は**全国値をやや上回っていた**。しかし、無回答率がやや高めとなっている。
- ・「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること」は**全国値をやや上回っていた**。

●算数科における成果と今後の改善点について

ほぼ全国値を上回り良好な結果でした。また、半数以上の設問で全国値を大きく上回っていました。本校では、「除数が小数である時の除法」の設問、「図形領域」の設問、「与えられた条件を基に考察し説明すること」の設問にやや課題があることがわかりました。改善点として、数学的な活動を通して知識及び技能を身に着けることや、知識及び技能を用いて、考察・判断し表現する機会を取り入れた授業を今まで以上に進めていきます。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

- ・「国語・算数・英語・理科の勉強は好きですか」、「国語・算数・英語の勉強は大切だと思いますか」の肯定的回答は全国値を下回っている。
- ・「国語・算数の授業内容はよくわかりますか」の肯定的回答は全国値を下回っている。
- ・「英語の授業の内容はよくわかりますか」の肯定的回答は**全国値をやや上回っている**。
- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定的回答は**全国値を上回っている**。
- ・「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」で「ほぼ毎日や週3回以上」の回答は**全国値を上回っている**。
- ・「5年生までに受けていた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の肯定的回答は**全国値を上回っている**。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的回答が全国値をやや下回っている。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の肯定的回答が全国値をやや下回っている。
- ・「学校の授業時間以外に、月曜日から金曜日、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師、インターネットの活用も含む）」で「3時間以上や2時間以上3時間より少ない」の回答は**全国値を上回っている**。
- ・「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」の肯定的回答は**全国値を上回っている**。

3 今後の取り組み

生活習慣や学習環境等の結果からは、「朝食を毎日食べる」「毎日同じ時刻に寝ていますか」の項目は、概ね全国値と同様の結果となりました。子どもたちが1日を元気に活動するためには朝食を食べることと十分な睡眠が必要です。引き続き、保護者の皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

教科に関する項目の結果からは、「国語の勉強が好き」「算数の勉強が好き」「英語の勉強が好き」「理科の勉強が好き」等の授業に関する項目は全国値を下回っていることから、楽しい授業になっているのかを問い返されました。本年度は「子どもとつくる算数の授業」に取り組んでいるところですが、学ぶことの楽しさを感じられる授業づくりを目指してまいります。

学級活動や委員会活動、異学年交流等の子ども同士が関わり協力し合う機会を通し、他者への思いやりを育める場面を意識的に作っていきたいと考えています。また、道徳の授業やいじめ予防授業での学びを学校生活の中で深め、いじめを許さない心を育てていきたいと考えています。

子どもたちが自分の良さを見つけ、目標を持って前向きに生きていくためには、様々な体験活動を通して達成感を味わうことや、いろいろな人たちとの出会いや関わりが必要だと考えます。運動会、音楽会などの各学校行事や地域の方や専門家を招いた体験的な学習の場面を図るなど、今後も教育活動の充実に努めてまいります。